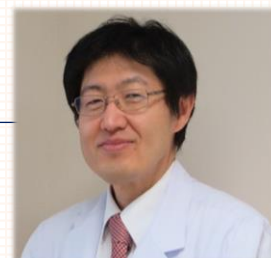


HoRC-MSA ニュースレター

新代表からのご挨拶



この度、2020年12月1日付で北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座神経内科学教室教授を拝命しました矢部です。あわせて、前任の佐々木秀直先生から引き継いで本研究Hokkaido Rare disease consortium for MSA (HoRC-MSA)の代表も務めることとなりました。

HoRC-MSAは、札幌医科大学や旭川医科大学を含む道内多施設の担当医の方々だけでなく、大勢の多系統萎縮症(MSA)患者さんおよびご家族のみなさんのご協力の下で実施している研究です。2012年に立ち上げられ、2014年から開始した患者さんの登録は6年間で200名を超えました。このような長期間で多数の方々のデータを集積してきた研究は世界でも貴重であり、特に日本やアジアにおいては初めてのことです。これまであまりよくわかっていなかったMSAの経過(自然歴)に関わる新しい情報が報告できるようになりました。

MSAは、ふらつきや呂律の回りづらさ(運動失調症状)、動きの遅さや体の固さ(パーキンソン症状)、立ちくらみや尿の問題(自律神経症状)が徐々に進行する神経の難病ですが、病気の研究は少しずつではあるものの発展しつつあります。

今後このHoRC-MSAでは、病気の診断や進行状況の評価に役立つ指標(バイオマーカー)の開発を進めていくことを計画しているところです。私たちは診察での評価に加えて、血液検査などから得られる情報も活用し、北海道内外の研究期間とも協働しながら、MSA患者さんに還元できる研究を目指しています。このような研究成果を近い将来のMSAの新しい治療薬開発につなげていきたいと考えています。MSA患者さんやご家族のみなさんには、これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、引き続きHoRC-MSAおよび関連する研究へのご参加をお願いできれば幸いです。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、普段の受診やリハビリテーション、介護サービスの利用などが制限されることもあったかと思えます。今年もまだ感染症の状況に注意は必要ですが、少しでも日々の活動に支障がなくなってくることを期待し、私たちも明るいニュースを届けられるように診療や研究に取り組んで参ります。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2021年1月

矢部 一郎 Yabe Ichiro

北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野神経内科学教室 教授

HoRC-MSAの成果が論文で発表されました

これまでHoRC-MSAで蓄積されてきたMSAに関わる疫学的調査のデータを解析し、その結果がBMJ Open誌に掲載されました(BMJ Open 2021;11(2):e045100. Published online 2021 Feb 8.)。

本研究は、日本やアジアで初めての大規模な前向き観察研究であり、症状経過や薬剤使用状況などについて、貴重なデータを提示しています。本研究にご協力いただいている多くのみなさまに改めて感謝申し上げます。

Open access

Original research

BMJ Open Multiple system atrophy in Hokkaido, Japan: a prospective registry study of natural history and symptom assessment scales followed for 5 years

Masaaki Matsushima¹, Ichiro Yabe¹, Ken Sakushima¹, Yasuhiro Kanatani^{2,3}, Naoki Nishimoto⁴, Takeshi Matsuoka⁵, Jun Sawada⁶, Haruo Uesugi^{7,8}, Kazuya Sako⁹, Asako Takei¹⁰, Akiko Tamakoshi¹¹, Shun Shimohama¹², Norihiro Sato¹³, Seiji Kikuchi¹⁴, Hidenao Sasaki^{1,15}

新型コロナウイルス感染症への対策

前回のニュースレターで新型コロナウイルスのことをご案内してから半年以上が経過しましたが、残念なことに新型コロナウイルスとの闘いは長期化しています。北海道では気温が下がる冬期間には一層の注意が必要です。北海道庁が提唱している「北海道スタイル」を参考に、新型コロナウイルスに感染しないための日々の行動に取り組んでいきましょう。感染予防のために、人と会うことが難しくなっている今だからこそ、ニュースレターのような紙面での情報提供、携帯電話・スマートフォンを使ったコミュニケーションを大事にして、お互いのつながりを大切にしていきたいと思います。

道民の皆さまへ

 いまは、 きよりをとって	 手を洗おう	 咳エチケット	 換気をしよう	 北海道コロナ通知システムと 接触確認アプリ(COCoA)を 活用しよう
 3つの「密」を さけよう	 テイクアウトや デリバリーも	 オンラインを 上手に使う	 いまは、小声で	 正しく理解し 思いやりある行動を

はじめよう、つづけよう。「北海道スタイル」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/newhokkaidostyle.htm#winter>

調査への御回答のお願い

HoRC-MSAへの参加希望の「意向調査」の返信をいただいた方には、研究説明同意文書とスクリーニング調査票をお送りしています。「同意書」の提出のない場合は、参加する方の承諾が得られていないということになりますので、調査研究を進めていくことができません。HoRC-MSAに参加をご希望の方で、もし同意書が未提出でお手元にある方は、返信用封筒に入れて事務局へお送りください。

登録済みの方には、適宜所定の調査票をお送りする予定としています。こちらにもご協力をお願いします。

時々、転居などのためにこちらから発送した書類が届かずに返送されてくる場合があります。住所変更、通院先が変わったとき、お亡くなりになられた時など、何かありましたら、同封の「変更用紙」にてお知らせをよろしくをお願いします。



HoRC-MSA事務局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
神経内科学教室（北海道大学病院神経内科）

TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356

URL <http://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/horc-msa/>



質問・ご意見等募集

HoRC-MSAでは、みなさまのご意見やご質問を募集しています。お寄せいただいた内容は、個人情報に留意しつつ、HoRC-MSAの取り組み・運営の参考にさせていただきます。

〒060-8638
札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座
神経内科学教室 HoRC-MSA事務局

編集後記

新型コロナウイルスのパンデミックが長期化しています。全世界で多くの感染者が発生し、経済も大きなダメージを受けています。一方で、ワクチンの開発は今までにないスピードで進められ、米国や欧州では既に一般市民向けにワクチン接種が開始されました。大きな困難に対して、医学の発展は必ず解決策をもたらしてくれます。（HoRC-MSA事務局）